

- 1 議長挨拶
- 2 経過報告
 - 5月12日 第81回連携会議
 - 5月18日 石事協 役員・研究推進委員：合同研修会（中川・齊籐・村井出席 ※石事協役員 森）
 - 5月30日 予算要望G会議（議案検討）
- 3 協議題1 2017年度各グループの活動計画について ～ 別紙1
81回会議事に各グループで年間活動計画について協議しました。本日の会議で発表し全体で確認します。
- 4 協議題2 「平成30年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ～ 別紙1
(提案 予算要望G担当)
- 5 実践交流
予算編成の提案及び関連する事務運営計画（花川中）
- 6 連絡事項
 - ① 市内基礎データ集約状況について
市内基礎データについて、別紙の通り集約されました。この後、望来省学校に記入をお願いして完成後アップします。
 - ② ふらのフォーラムについて
7/27 10:00～ かでの2・7 講演講師 末富 芳・篠原岳司先生
例年通り、石事協と石狩連携会議が後援団体となりました。
連携会議ウェブページに要項等掲載されました。
 - ③ 手引きのページの更新について
手引きのページに「備品管理の手引き」を加えました。みなさんで一度チェックをお願いします。
なお、就学援助の手引きの更新については、市教委の返事がまだなので暫くお待ち下さい。
 - ④ 保護者負担調査について
保護者負担調査について、次回会議で提案予定ですが、今回は「PFシート」を使って調査を行いたいと考えています。次回会議までに何らかの方法で「PFシート」の紹介を進めたいと思います。

平成29年度 予算要望G活動計画(案)

1, 構成員 (教育予算要望委員会の所属と業務内容)

構成	氏名 (所属校)	担当 調査	業務内容
予算要望部会	村井 誠 (石狩中)		予算要望活動の総括
学校徴収金 班長	小谷 千里 (花川小) 寺下 和哉 (花川北中) 沼田 仁志 (双葉小)		保護者負担軽減 財政基盤強化
学校財政 班長	齋藤 大輔 (花川南中) 山岸 綾菜 (花川小) 後藤 克美 (浜益中) 白田 萌 (花川南小)		管理消耗 教育機器 特別支援 生活科 総合学習 実習材料 費

各分野において保護者負担軽減に向けての整合性を確認する。

2, 活動方針

- (1) 教育施設・設備と教育費の保護者負担軽減を求め諸活動を推進する。
- (2) より確かな予算要望資料作成のため、日常実践を通して資料の収集と分析を行い説得力のある要望書づくりと予算獲得に努める。
- (3) 予算要望活動を学校間連携のとりくみとして推進する。

3, 活動計画

- (1) 予算要望書の効率的及び効果的な資料作成のための企画立案
- (2) 要望資料作成にあたり、成果や課題を踏まえ、各校の実態交流を通して、より説得力のある資料づくりを推奨する。
- (3) 事務部会の重点を明らかにしてとりくみを推進する。
- (4) 学校間連携による (実態) の調査により、年間を通じた活動を推進する。

2017年度 調査研修グループ活動計画(案)

1 所属メンバー

榎本 (石狩小)、中野 (生振小)、森 (南線小)、品田 (緑苑台小)、保里 (紅南小)、林 (樽川中)、高松 (花川中)、小村 (八幡小)

2 活動方針

- (1) 業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討・提案する。

(2) 研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

3 活動計画

(1) 学校事務の改善について

- ①事務職員が関わっている業務について、調査・資料化をする。
- ②備品台帳の維持管理、その他備品関係等にかかわって教育委員会との調整を行い、検討・改善を図る。
- ③就学援助事務の手引きに改善の必要がある場合は、改善に向けて検討を図り、教育委員会との調整を行う。また、変更が生じた場合は、手引きの変更を行う。
- ④上記作業等については、協議会、連携会議事務局と十分に連携を図る事とする。

(2) 視察研修等について

- ①他支部交流、出前講座については、調査研修グループで内容を検討し、提案する。実施後、報告を行い会員に研修成果の還元に努める。

2017年度 研究グループ活動計画 (案)

1, 所属メンバー・・・佐藤 (南線小)、三浦 (樽川中)、小林 (聚富小中)

田中 (浜益小)、富永 (厚田小)、中川 (厚田中)

2, 今年度の研究課題

子どもの学習権を保障する創造的学校事務の展開

～ 「学校間連携」のとりくみをとおして ～

3, 活動計画

(1) 「領域としての学校事務」を、より認知・定着させるとりくみ。

- ① 財政財務活動・教育情報活動について、各会員の日常実践を積極的に交流する。特に財政財務活動については学校間連携により、保護者負担公費化(軽減)に向け決算予算書の交流や学校徴収金調査等のとりくみをすすめていく。
- ② 各校運営計画、保護者向け・教職員向け事務便り・児童生徒保護者アンケートについては、引き続き学習・交流を行う。
- ③ 全道事務研究大会を始めとした各種研究会や他支部交流の参加体制の確立に努める。
- ④ 市独自の夏季・冬季研修会に参加し、会員の実践推進の場とするとともに、他市町村などと交流を深める。
- ⑤ とりくみ内容などは、協議会、連携事務局と十分に連携を図ることとする。

(2) 各種レポート作成などについて

- ①全道事務研究大会、石教研二次集会、管内研などの発表レポートについては、研究部が主体となって作成し、会員に十分周知する。

(3) その他

【平成29年度石狩市教育予算要望書】作成に向けた取組について

調査書については別紙参照

1. 予算要望部重点課題

(1) 昨年度の継続課題

	昨年度 継続課題	可視化可能な案件	備考
1	配分予算の課題と要望	過去3年間の推移	
2	印刷関係相関表	全体予算と印刷費	
3	各教科実験材料費保護者調査	全体徴収金と各教科徴収金割合	
4	学校図書館整備消耗品整備		
5	吹奏楽関係修繕及び整備予算	過去2年間の推移	
6	スキー学習予算		
7	学校配分予算外での必要経費予算化		就学援助

(2) 昨年度成果と課題 (青文字 成果 赤文字 課題)

1 について

成果) 配分調整等自由裁量が増え執行する側としての目的は果たされている

課題) 予算配分ベースが昨年度ベースと大枠になり、今後予算増額の資料要素が減ったことが非常に大きな課題となっている。

2 について

成果) 事務職員努力と教職員の予算意識の高まりにより順調に印刷費の割合がへり、財政基盤強化となる。

課題) プリンターの更新等により1枚単価の増加による課題をどう克服したのか調査が必要 (例 メインプリンターを更新機から違うものに変えた等)

3 について

成果) 各教科での学校徴収金の全体的な割合が見えてきた
(長年にわたる継続課題)

課題) 各教科徴収金データはとても重要。これを公費化するにはそれなりの理由が必要だと思われる。

1, 教育課程上もしくは文科省・道教委・市教委が事業として行っているもの

2, 個人還元物ではない

3, 市内小もしくは中学校が共通して購入せざる得ない状況である。

4, 就学援助でもこの教材に関して算定基準となっている

これを満たしているのが

小学校では何か (絵の具セット朝顔セット等 何らかの業者テスト)

中学校では何か (学力テスト 理科薬品)

4 について

課題) 継続的要望が必要

5 について

成果) 確実に成果を上げている案件。継続した取り組みが必要

課題) 達成度を数値化しての取り組みも必要。同じ学校による同じ楽器の単価にばらつきがあるのは提示資料として不適格。資料の正確さが必要。

6 について

課題) バス1台あたりの単価の推移を数値化する必要

昨年度の補助額実績と一人あたりの市費負担額の推移を分析

7 について

課題) 参考資料としての取り扱いになるが継続した取り組みが必要。

調査内容の具体的な絞り込みは必要

そのために連携事務局との連携協議が必要

- (3) 教育委員会が財政課と交渉するための予算書作りをするための問題点
(現状教育予算要望書は財政課との折衝資料になっていない。)
- 1, 危険・事故・現実にもならない状況等このような状況のみ予算計上
 - 2, 教育委員会 教育業界からの出向している職員(教員・教頭)が予算要望のための意見が私たちがのぞむ予算要望の意見と合っていない為に起こる取りこぼし要望
(例えば学力向上のための予算は人的予算だけでなく、実際には学力向上事業を運用するにあたる運用予算の現状が理解されていない現状)
 - 3, 予算の裏付けのある事業に対する積極的な要望ができていない (ICT 予算等)
 - 4, 学校現場の施策的予算が計上されていない
(学力向上の為に学校ではどのような事業を立案して、そのためにどのような予算立てが必要かが見えていない。マネジメント不足)
 - 5, 予算算定基準が昨年度ベースになっている。現状として予算を上げるための具体的な項目がない。
 - 6, 細節は事前に動かせるが、節は動かせない。

(4) 今年度の取り組み (重点項目)

- ①上記(2)における課題を考慮した調査方法
- ②昨年度の継続課題の取り組み。可能であるならば調査統計に対しに数値化を施す。
- ③細節変更可能の継続
- ④消費税10%になるときの対応協議(担当者へのアナウンス)
- ⑤学力向上・体力向上・英語教育推進事業・道徳教科化に関連して要求できる具体的な方策を模索する。
- ⑥各学校独自での研究や経営方針に沿った具体的な予算項目の模索。
- ⑦学校教育法改正による「事務をつかさどる」における学校間連携事業予算要望関連事業における「事務マネジメント」の模索
- ⑧予算要望書項目の点検様式見直し(事務職員部)模索

EX) 1, 総務課 総務施設 学校教育課 毎に分類する

2, 各項目毎に様式を作成する(現在は各学校毎の様式)

⑨事務職員が積極的に予算要望書作成に関わり合いを持つ。

2, 年間活動計画

(1) 予算要望委員会関係

日程	内容	備考
4月14日	石振教第1次協議会	構成メンバー決定 引き継ぎ
5月12日	第1回連携会議 予算G打合	組織作り 基本方針の検討・確認
5月23日	予算要望委員会市教委打合せ	事務局長・次長と総務企画課主幹
5月30日	予算G年間活動計画打合	調査内容の検討
6月23日	第2回連携会議 予算G打合	調査項目 アンケート内容等の検討
7月 4日	第3回連携会議	6月23日次第
7月 4日	第1回予算要望委員会	業務方策 日程 分担等
7月 7日	事務職員部予算調査提出締め	事務職員部門集約締め切り
7月17日	予算要望G担当者集計締め	各項目による集計と見解
7月 日	夏期研修会	未定(予算に関する案件)
8月21日	予算要望各学校調査締め切り	予算要望(営繕・配分予算・各会計予算)
9月 1日	第4回連携会議	予算要望資料確認
9月14日	予算要望とりまとめ・提出	
9月14日	全道事務研	予算要望検討

9月22日	第5回連携会議	予算要望検討
9月中旬	第2回予算要望委員会	各校予算用要望検討
10月上旬	石狩市教育委員会各校視察	要望書に基づく実地調査
10月中旬	各位団体からの要望	
11月下旬	教育予算要望書 提出	石狩市各課 財政課との予算審議入り
12月上旬	平成30年度石狩市予算要望書	各校に配布
12月下旬	第 回 教育委員会会議 傍聴	
2月 9日	石教振第3次集会	まとめ
2月 日	第3回予算要望委員会	業務推進内容 方法の確認
3月上旬	平成30年度教育関係予算内示	平成30年度予算案提示

(2) 日常実践関係

5月・6月・7月重点月間

- ①予算要望委員会各部会でのアンケート作成に向けて、事務部会の協議を踏まえ、取り組みを行う。
 - ②学校間連携活動を通して、各関係グループと情報交換をして、連動した次年度要望を検討していく。
- 8月以降
- ①今年度の予算配分について、評価、検証の交流を行う。
 - ②学校間連携の活動として各関係グループとの情報交換をして、連動した次年度要望を検討していく。
- 12月以降
- ①活動反省を行い次年度活動につなげていく
 - ②教育委員会と継続的に連絡を取り合い予算要望内容を周知させていく。

3. 今後の日程

- | | | |
|-------------------|------------------------------|-------------|
| (1) 原案検討 | 5月12日 | 第1回連携会議 |
| (2) 調査内容の検討 | 5月30日 | 予算要望G会議 |
| (3) 調査書具体的内容決定 | 6月23日 | 第2回連携会議 |
| (4) 調査期間 | 6月24日～7月7日ころ | |
| (5) 市内予算要望委員会 | 7月 4日 | 第1回教育予算要望会議 |
| (6) 第3回連携会議 | 7月 4日 | 予算要望内容・調査結 |
| (7) 市内予算要望委員会調査期間 | 7月 5日～8月21日 (各校要望〆切 8/21 予定) | |
| (8) 予算要望書内容全体検討 | 8月 8日 | 夏季研修会 |

※ 本日の会議で確認後、集約用紙のエクセルデータを各校に送付します。

平成30年度 教育予算要望書 集約用紙

1, 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合

2016（平成28）年度実績で記載してください。PC教室分も配分消耗品費で措置したものはこの調査に含めてください。

学校配当消耗品費（単位千円）				千円	
プリンタインク・トナー使用量				円	
レンタルプリンタ年間利用料				円	
印刷機インク・マスター				円	
コピー機使用(カウンター)料				円	
用紙代				円	
消耗品費配分額(H28)に対する割合				円	

2, 各教科消耗品等で全員が必ず購入する保護者負担となっている物の内容と金額別シート「H27資料」の作成例を参照してください。但し今年度の調査は取り組み要点が提示されています。その要点に沿って調査願います。）

小学校	1, テスト	(各教科)
	2, ドリル・ワーク	各教科
	3, 社会	資料集
	4, 理科	実験材料・苗・種
	5, 図工	実習材料・版画(版・用紙・インク)
	6, 家庭科	実習教材(ナップサック・エプロン等) 実習費(調理)
	7, 生活科	あさがお・ミニトマト・ザリガニ・探検パック
	8, 学活(学級活動用)	用紙類・ファイル・マジック類
中学校	1, 学力テスト	
	2, ワーク	
	3, 理科実験消費	
	4, 各教科実習費	技術科・家庭科・美術科・音楽科

3, スキー学習バス代調査(H28年度実績)		
①, スキー学習にかかる全体のバス代総額を教えてください。		
H26年度		円
H27年度		円
H28年度		円
②, バス代の補助金総額を教えてください。		
	1回のみ実施学年	2回実施学年
H28年度	円	円
③, バス代の私費負担総額を教えてください。		
	1回のみ実施学年	2回実施学年
H28年度	円	円
④, バス代の一人あたり私費負担額を教えてください。		
	1回のみ実施学年	2回実施学年
H28年度	円	円
参考資料		
⑤, 利用しているバス会社を教えてください。		
H28年度		
⑥, バスの種類を教えてください。		
H28年度		その他
⑦, バスの種類を教えてください。		
	全体の台数	学年毎の内訳がわかれば記入してください(記述)
H28年度	台	
4, 楽器整備5カ年計画		
別シート「楽器整備5カ年計画」を修正する形で回答してください。		
※平成30年度～34年度分になります。		
5, 学校図書館整備に係る消耗品などの必要な経費(学校図書館司書配置校)		
※学校配分予算とは別に、学校図書館司書の方の業務に必要な経費について記載してください(学校図書館司書の方から聞き取りを行い、記載してください。)		
品名	金額	金額の内訳・説明
中学校でも図書館司書が必要ですか(○or×)	回答	

6, 修学旅行・宿泊学習において、就学援助補助対象経費以外で保護者負担となった経費

調査内容につきましては連携事務局と協議します。

I. 2016年度花川中の財政決算報告及び現状と課題

1. 市配当予算の現状と課題

(1) 2016 (H28)年度の配分予算は、消耗品については教科書採択替期特別加算配分等のため前年度比323,000円増の2,603,000円となりました。増額要望分を効果的に執行するよう心がけてきました。配分増といえども予算執行上多難が予想されましたが、皆様のご協力により無事に執行することができました。

(2) 市配当予算の執行は、校内配分予算に基づき、「必要なものを必要なときに必要なだけ」購入するという姿勢で執行しました。

(3) 予算の効果的執行のため、11月に再配分(予算補正)作業を行いました。補正により、各教科を中心に必要な消耗品類を一定程度充足させることができました。

(4) 全予算にわたり、積極的な予算執行ができましたが、2017年度に向けた備蓄が手薄となり、不安を残しました。

【市配当予算の執行報告】

項目	2016 最終配分額	決算額	市経理	(参考) 私費負担額	合計	説明	
教科	590,000	513,641	体育	30,401	0	30,401	ソフトボールグローブ¥19,980 他
			美術	44,130	344,803	388,933	工作用紙¥10,650、檜棒、クリアホルダー 他
			理科	42,874	未確定	(42,874)	薬品類¥42,874
			家庭	56,471	245,002	301,473	炊飯器¥49,980 他
			技術	42,162	未確定	(42,162)	のこぎり替え刃¥65,000 他
			音楽	53,183	0	53,183	楽曲CD、ハンドベル¥24,995 他
			書写	47,613	0	47,613	筆ペン¥15,000、半紙¥24,486 他
			英語	188,352	0	188,352	デジタル教科書1～3年 ¥184,770
			数学	7,684	0	7,684	入試対策CD¥6,480 他
			その他	771	0	771	FAX原稿用紙
分掌	40,000	19,331	進路	8,800	未確定	受験情報誌購入	
			研究	9,927		研究用図書購入	
			管理	604		熱帯魚関係用品	
印刷関連	1,300,000	1,351,904	市配当消耗品費に対する印刷関連費の割合：73.70%(H23)、57.67%(H24)、48.70%(H25)、50%(H26)、57.7%(H27)、57.4%(H28)と、3年連続50%越となりました。日頃の節約に感謝しつつも、今後の印刷費の上昇を危惧します。引き続き、印刷経費の削減にご協力をお願いします。				
一般消耗品	200,000	232,513	一太郎pro3747enスパシジョンアップ¥43,200、教務手帳¥29,502 その他一般事務用品・消耗品				

維持管理	130,000	231,028	校舎管理に関して、公務補を中心とした迅速な対応の結果、予算を大きく上回ってしまいました。校舎の老朽化に伴い、今後も支出が増えることが想定されるため、経費節減に向けた方策が必要になると思われます。
行事	80,000	83,324	入学式胸花¥19,504、体育祭鉄柵¥17,928、卒業式学事報告用紙¥3,606 他 学校際は全額生徒会費
保健衛生	150,000	171,101	保健室医薬品¥60,464、トイレットペーパー15箱（¥79,380=昨年比3箱増）など。
(予備的経費)	113,000	0	
小計	2,603,000	2,602,842	

印刷製本費	50,000	8,100	卒業証書朱印刷込8,100円。「花中の教育」の製本は昨年からファイル方式になったので、今後配分調整※を行います。
備品修繕料	130,000	110,484	楽器修理55,512円、跳び箱修理、バレーネット修理 他
生徒用図書費	620,000	619,877	担当者の労を多とします。
通信運搬費	180,000	54,540	楽器調整30,000円、保健室用品クリーニング14,400円、柔道着クリーニング89着で50,730円、旧図書室の交換したカーテンを試験的にクリーニング。切手54,540円。入試関係の切手代は、前年度から引き継がれた切手以外は公費支出としました。
手数料		43,929	
管理備品購入費	210,000	198,072	11月16日の職員会議で決定しましたが、ワックスがけボランティアさんの強い要望で、モップ絞り器を購入し掃除機を見送りました。
市教委予算による管理備品購入			学級増に伴い教卓用事務机 他 生徒机イスセット等は余りの学校から移管。
あすなる消耗品	120,000	88,992	授業で使う消耗品を中心に執行。

※配分調整:学校の実情に合わせて、市教委が学校の要望にそった配分を行うこと。(例:修繕料を減らして消耗品費を増やす)

【教材備品購入費執行報告】

項目	配分額	執行額	説明
教材備品購入	811,000	794,232	5月11日職員会議決定どおり執行しましたが、見積価格が予想より高く、何点か積み残しが生じました。
市教委予算による現物配備			学級増に伴い書画カメラ・テレビは緑苑台小学校から移管。楽器購入特別配分でフルート・トランペット230,000円

2. 学校徴収金の現状と課題

- (1) 昨年に比べ決算報告が遅延しています。私費会計の取扱は慎重に進める必要があることをご理解下さい。
- (2) そのような中でも、学校徴収金処理の適切化や保護者負担の軽減・公費化は前進しています。今後ともご協力宜しくお願いします。具体的には、職員会議等で示していきたいと思ひます。

【学校徴収金の執行報告】

経費名		収入決算	支出決算	留意事項
実習教材費	美術	344,803	344,803	市配当予算からの支出額44,130円
	技術		未確定	市配当予算からの支出額42,162円
	家庭	252,327	245,002	市配当予算からの支出額56,471円
	理科		未確定	市配当予算からの支出額42,874円

学力テスト	230,720	231,040	不足分320円は過年度諸費から立替。現在残高9円
生徒手帳	84,158	82,120	現在残高2,038円
学級費	未確定		担任自費負担有り。生徒会費との統合を検討中。
生徒会費	1,304,129	718,352	現在残高 585,777円（昨年527,421円）。学級費との統合を検討中。
修学旅行	9,555,000	9,555,000	生徒一人あたり65,000円（自主研修交通費含まず）。奨励プロ補助金から、レンズ付きフィルム等70,220円支出
宿泊学習	1,574,400	1,553,928	生徒一人あたり12,300円（自主研修・帰路交通費含まず）。奨励プロ補助金から、レンズ付きフィルム等40,783円支出
校外学習	140,000	140,000	生徒一人あたり約800円（自主研修・帰路交通費含まず）。奨励プロ補助金からの支出なし。
あすなろ実習費	22,708	22,708	生徒一人あたり約1,622円（あすなろ単独実施のもの）
進路指導費	未確定		
同窓会費	1,327,387	136,422	3年生一人1,000円 剣道部全国大会補助 卒業記念品
自転車シール	未確定		

3. 補助金その他の現状と課題

(1) 学校奨励プログラムについては、目的に沿った執行が定着しつつあります。この財源を有効に使うために、さらに情報提供を進めていくことが必要です。

【市補助金その他の執行報告】

経費名	予算額	執行済額	内訳
学校奨励プログラム補助金	380,000	366,705	環境教育：ESD掲示板作成など 42,843
			人権教育：いじめ撲滅、情報モラル、命の学習など 38,724
			平和教育：命の学習 28,180
			国際理解教育：クリスマスカードなど 17,596
			その他：あすなろ農業体験、カレンダー作り 40,220
			その他：2年職場訪問、自主研修プレゼン 110,403
			その他：3年職場体験、自主研修プレゼン 79,019
			その他：印刷用紙等 9,720
外部指導者活用事業補助金	40,000	40,000	部活動外部指導者（バスケットボール・ソフトボール各20,000円） 学力向上サポーター480,000円
石教振生徒指導費	58,000	58,000	教護協会研修会旅費、着替え用ジャージ、祭典等巡視旅費等。

PTA会費		69,999	行事助成費（卒入学式演題花、保健室医薬品）保健室医薬品は2017（H29）から市経理対応とします。
課外活動費	50,000	20,750	生徒還元費（中庭玄関“すのこ”修理（高橋公務補））
バザー会計	700,962	434,342	H27年度は、学校への還元支出はありませんでした。
CRT学力検査		101,840	1・2年 320円×307人+手引き
知能検査		73,590	1年 405円×178人+手引き
Q-U実施料		89,460	105円×2回×431人

II. 2017(H29)年度花川中の財政計画について

1. 予算の概要と執行方針

- (1) 2017(H29)市配当予算は、教科書採択替特別配分が今年度はないため、学級増にもかかわらず、25万円減の2,930,000円となりました。それでも2015(H27)よりは10万円程度多い水準となっています。例年通り、昨年と同規模の予算規模でスタートし、秋に補正予算を組むことで、無駄使いを回避するとともにより教育効果を高める執行を目指します。
- (2) 教材備品費については、学校購入特別配分75万円が措置されました。
- (3) 図書購入費については、特別加算532千円を含め1,152千円の配分です。
- (4) 校務支援システムの活用など、印刷経費等の節約をこころがけ、教科運営にできるだけ多くの配分を行い、保護者負担軽減に努めます。
- (5) 学校徴収金（教材費）等については、保護者への説明責任を前提に適切な執行を目指し、保護者蓋軽減の観点から、できるだけ公費措置を進めるよう取り組みます。

2. 【市配当予算の執行計画】

配分項目	昨年の 決算額	今年の 当初配分額	内 訳				説 明
教科	513,641	345,000	理科	70,000	美術	40,000	◆当初配分は前年度並みの水準でスタートし秋に補正 ◆国語のデジタル教科書の要望がありますが、今年の予算規模では購入は かなり困難です。備品購入費での購入できるよう予算要望委員会に 意見反映します。 ■技術：昨年実績は減だったが諸費を減額する予定なので保護者負担軽減分 として現状維持 ■書写：半紙代中心に当初20,000円、筆ペンは穂先の痛み具合で補正予算で ■美術：諸費の減額は困難とのことなので当初予算30,000円でスタート ■体育：担当と調整中 ■音楽：合唱CDと楽器消耗品等 ■家庭：オープンスタ6台整備（8,000×6台=48,000）だが一度に揃えられない ので2年計画で調整中 ■数学：電卓の整備40台程度
			体育	30,000	書写	20,000	
			技術	80,000	家庭	40,000	
			音楽	30,000	数学	15,000	
			その他	20,000	その他		
分掌	19,331	40,000	研究	10,000	管理	5,000	■進路：指導用資料（ガイド+情報誌）20,000円+消耗品費 ■管理：水槽維持消耗品、昨年実績少額のため当初予算減額 ■研究：研究図書、当初予算は昨年実績額で。 ■その他の分掌として必要な経費は一般消耗品で対応します。
			進路	25,000			

印刷関連	1,351,904	1,300,000	印刷機インク・マスター、コピー・プリンタトナー、印刷用紙など。当初予算前年同額。 H27当初配分1,200,000円でしたが、 <u>生徒数・学級増及び決算状況に鑑み、H28より当初配分を増額しました。</u> ここでの節約が、教科消耗品の配分増となって、保護者負担軽減に繋がります。印刷しないで済ませられることを考えるようにしてください。小研修室のカラーインクジェットプリンタ使用注意。				
一般	232,513	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ■事務用品や教授活動等に伴う消耗品。個人の要望に応えるのは困難（特に事務用品）です。ここでの節約が、教科消耗品の配分増となって、保護者負担軽減に繋がります。引き続き節約に努めて下さい。不要なラミネートやカラープリント、ラベルシールなどに留意下さい。 ■・指導要録、出席簿用紙・得点通知封筒・集金袋封筒・生徒指導簿・職員録等はこの区分から支出。 ■採点用赤ペンは原則としてダーマトグラフィーを使用することになっています。 ■「学習の記録」用ファイルについて、1年生分は購入済みです。2・3年生は原則これまで使用していたものを引き続き使用して下さい。 				
維持管理	231,028	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年度は予算を10万円以上上回る支出がありましたが、当初予算は例年通りに抑えて、経費の削減につとめます。 ■教室ハンガーやトイレ関連消耗品の充実については今年度で終了しますが、トイレ環境整備は今後も留意が必要です。 				
行事	83,324	90,000	入学式	15,000	学校祭	15,000	<ul style="list-style-type: none"> ◆近年旅行行事で旅行ガイドブックが必要とされています。<u>奨励プロ補助金からも支出実績がありますが、公費予算措置も必要と考え配当しました。</u> ■入学式：入学生胸花 ■学校祭：学校祭は基本的に生徒会予算で。昨年も実績がありませんが、公費化の検討のため予算化しておきます。 ■体育祭：昨年に引き続き鉄杭10本必要となっています。
			体育祭	25,000	卒業式	15,000	
			宿泊学習	10,000	修学旅行	10,000	
保健衛生	171,101	150,000	医薬品類	50,000	衛生	100,000	■保健室器具・薬品。トイレトーパーなど
補正原資		200,000	■今年度の消耗品配分額2,425,000円ですが、当初計画2,225,000円でスタートし、秋の補正予算で調整します。ただし、昨年に比べて補正原資が少ないため、補正に大きな期待を寄せるのは禁物です。				
消耗品費合計	2,602,842	2,425,000					
印刷製本費	8,100	20,000	<ul style="list-style-type: none"> ■卒業証書朱印印刷8,000円 ■「花川中の教育印刷帳合製本」については、H28年度からファイル方式に変更。H29年度は配分調整により印刷製本費減額しました。 				
備品修繕料	110,484	130,000	■楽器修理費として当初70,000円。年度末に残が出る場合も楽器修理に回します				
生徒用図書費	619,877	620,000	■今年度は加算配分はありません				
通信運搬費	98,469	70,000	<ul style="list-style-type: none"> ■楽器の調整に当初30,000円 ■ミシンの調整を今年2台くらい実施して、以降年次計画で実施 ■柔道上着・保健室シーツ等クリーニング。カーテンについては、傷むリスクもありますが基本は洗濯機で洗ってください。 				
手数料		110,000	■郵券は、事務連絡用。職場訪問依頼礼状などは奨励プログラム補助金で。進路関係は進路費と調整しながら執行します。				
食料費	5,505	5,000	■来客用お茶				
教材備品購入費	794,232	1,627,000	■楽器購入特別配分750千円+877千円です。購入計画については別途提案します。				

管理備品購入費	198,072	210,000	■購入計画については別途提案します。
あすなる消耗品	88,992	102,000	あすなる学級消耗品+通級教室開設費 の額です。

3. 学校徴収金納入額見込・予算・留意事項等

経費名	予定収入見込	内 訳	留意事項	
実習教材費	美術	357,600	1～3年各800円	市配当予算の当初配分40,000円
	技術	904,900	1年1500円、2年3100円、3年1300円	市配当予算の当初配分80,000円
	家庭	272,100	1年500円、2年800円、3年500円	市配当予算の当初配分40,000円
	理科	89,400	1～3年各200円	市配当予算の当初配分70,000円
学カテスト	222,400	1年320円、2年320円、3年960円	全額私費負担	
生徒手帳	80,280	180円	金額据え置き	
学級費	—	生徒会費と統合		
生徒会費	922,000	一人2,000円	学級費と生徒会費を統合	
3年修学旅行	8,772,000	一人68,000円参加151名	学校奨励プログラム補助金からファイル、ガイドブック、写真データ費用など、プレゼンのための経費55,000円程度支出予定	
2年宿泊学習	未確定		" "	
1年校外学習	未定		" 35,000円程度 "	
あすなる実習費		昨年度から、適時集金となっています。	校外学習交通費、調理実習など	
進路指導費	154,800	3学年一人1,200円（予定）	事務用品費・書籍は公費で。郵券の全額公費化を検討。	
同窓会費	129,000	3年一人1,000円	各教室に扇風機寄贈300,000円	
自転車シール		通学許可生徒のみ（150円）		

4. 補助金関係配分見込・予算・留意事項等

経費名	予算額	予定総額	留意事項
学校奨励プログラム補助金		420,000	配分確定後計画作成。あすなる農園・花壇・カレンダー活動。修学旅行・宿泊学習・校外学習経費の一部（要成果物作成）。全校道徳講師派遣。ボランティア清掃。国際理解活動（英語科）。人権・平和教育に係る活動（いのちの学習、薬物・情報モラル集会 他）。職場体験学習・キャリア教育・高校訪問の郵便料 他。その他。

外部指導者活用事業補助金	40,000	部活動外部指導者（バスケットボール・ソフトボール）	【学力向上サポーターは今年度実施せず】
石教振 生徒指導費	58,000	（金額は予定）生徒指導関係研修会（教護協会他）旅費、祭典巡視手当、非常用ジャージ購入、ヘアカラー・除光液などはこの予算で購入します。	
PTA会費	70,000	行事助成費（演台花など）＋医薬品費（医薬品費は市経理予算に順次移行します）	
課外活動費	－	具体的執行計画はスポンサー会議にて確認。顧問保険料・生徒還元費は廃止の予定。	
バザー収益金	繰越金278,367	原則としてPTA活動に対するものであるが、学校運営に寄与する場合もあり（課外活動会計への助成を検討中）	
CRT学力検査	107,200	1・2年 320円×325人＋手引き	
知能検査	72,325	1年 405円×175人＋手引き	
Q-U実施料	96,810	105円×2回×461人	
AAI検査	－	実施せず	

V 事務部

実践交流資料【花川中学校】 予算関連部分の運営計画

1. 基本方針

こどもの学ぶ権利の保障と本校教育目標達成のため、学校事務の諸活動を通じた学校づくりを推進する。

2. 重点目標

- (1) 学校運営の円滑化と教育課程推進のための学校財政の確立
- (2) 学校事務を基点とした情報の発信と活用に向けた手立ての定着化と研究
- (3) 地域に根ざした学校づくりの推進
- (4) 市内各校事務部門との連携・教育情報の収集を活用した本校教育推進
- (5) 法令関係その他の諸庶務の迅速・適切な推進

3. 業務内容と分担

担当者	業 務 内 容
常陸 (高松)	<学校財政財務活動> 予算編成、予算執行、予算要望、備品整備計画・管理、決算・反省 <教育情報活動> 学校間連携、学校支援地域本部事業、学校奨励プログラム事業、学校ホームページ
高松 (常陸)	<庶務> 文書收受、教員免許関係事務、公務災害関係事務、服務関係事務 共済・互助会事務、就学援助事務、給食事務、給与・手当、旅費、学校諸会費収入、証明書発行、郵券管理、給食需要数、その他

4. 業務の具体的推進

<学校財政財務活動及び教育情報活動>

(1) 活動方針

- ① 学校教育活動の中での学校事務の活動領域を確立するため、他職種との連携を始めとする学校事務の機能化に向け実践、研究を進める。
- ② 学校財政活動を、「予算編成—執行—予算要望—決算・反省」という1年間のサイクルとして押さえ資料収集など各節目に沿って提案し業務を進める。
- ③ 施設設備の整備・充実のため実態把握や保管の適正を期し、全職員と協力体制をとりながら具体的業務にあたる。
- ④ 石狩市公立小中学校事務職員学校事務連携会議に参加するなかで、各校の財政運営の実態交流など積極的な情報収集をはかる。

(2) 本年度の課題と重点

① 校舎内環境整備の充実

2016年度の重点目標として「本校生徒の生活態度改善に鑑み、生活環境の改善に取り組むため教室・校舎内外環境（美化・掲示物・安全性・快適性など）改善に関する予算配分に留意する」としたものの、その進捗状況は十分と言えないことから、引き続きこれらの課題について重点的に取り組む。

② 保護者負担の軽減・公費化に向けた財務の確立

子どもの貧困対策推進法・子供の貧困対策に関する大綱の制定により、学校が貧困対策のプラットフォームと位置づけられたことを受け、これまで以上に予算の効果的執行に留意し、保護者負担の軽減・公費化と教育課程推進の充実をともに進めるよう取り組む。特に、学校徴収金の執行状況について調査・分析を進め、課題を明らかにし改善の道筋を探る。

(3) 具体的取り組み内容

<学校財政財務活動><教育情報活動>

業務項目	取り組み内容	留意点等
学校財政財務	<ul style="list-style-type: none"> ◆予算編成 ◆執行 ◆予算要望 ◆反省評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の予算実態がわかりやすく提示されているか ●市配当予算とそれ以外の財源の関わりがわかりやすく提示されているか ●全ての教育活動と関連を持った予算配分となっているか ●保護者負担軽減、公費化の観点が盛り込まれ明確になっているか ●説得力のある要望書づくりのための現状分析（教室訪問等各担当との面談による情報収集・学校徴収金実態調査・町内外他校との情報交換など）は充分に行われているか ●情報提供を充分に行い、全職員が予算要望の内容にかかわれる体制づくりがはかられているか
(備品整備計画・管理)	<ul style="list-style-type: none"> ◆教材備品整備計画 ◆管理備品整備計画 ◆備品点検 ◆台帳管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科を始めとする全領域での効果的活用を推進するため計画的整備を図る ●前年度予算要望資料を活用するとともに、全職員からの要望に基づき計画する ●備品の整備状況、利用状況等についての資料化と情報提供を図る（活用） ●備品台帳の整備を基本として、現状を把握し、必要に応じて点検活動を行う（管理） ●点検活動については、教科担当等と連携して進める ●廃棄物品について適宜手続きを行う
教育情報	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育情報の還流 ◆学校事務の学校間連携 ◆学校ホームページ ◆保護者向け事務だより 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校事務推進の過程で発生した情報を積極的に校内に還流する ●事務職員連携会議及びその他の学校間連携の活動推進に積極的に関わり、その成果を本校教育推進に役立てる ●学校事務情報を媒体とした、教職員組織の機能化を進める観点 ●地域社会との関係を意識した情報の取り扱いー「生徒保護者向け事務だより」や花中ホームページを活用した地域社会への積極的情報還流
学校と地域を結ぶ活動	◆学校支援推進本部担当	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ボランティアを活用し、学校運営や教育課程推進のサポート体制を作る ●開かれた学校の観点を目指し、常に新しい取り組みを模索する
特色ある教育の推進	◆学校奨励プログラム交付金事業	<ul style="list-style-type: none"> ●現金配分のメリットを生かし、教育活動推進のため積極的活用を図る ●保護者負担軽減の観点も持ちながら有効活用を図る

<庶務>

- (1) 文書管理
①文書受付発
ア 着信文

補足 花川中学校は事務職員加配校であり、事務職員は以下の管理部門業務にも携わっています。

- ・校舎内外の環境整備計画、推進
- ・教室等割り当て ・校舎の管理責任者の割り当て
- ・校舎内外の施設設備の管理、保全、修理、営繕計画
- ・生徒用の机、椅子、靴箱などの配置と管理
- ・職員室座席配置と職員用机、椅子、靴箱などの割り当て
- ・校務用 PC 及び校内 LAN の管理
- ・職員トイレ清掃当番表作成